

命とくらしを守る避難所運営ガイドライン作成講座

【事業実施主体】

特定非営利活動法人
参画プランニング・いわて

【連携団体】

運営主体：盛岡市、もりおか女性センター
共 催：盛岡市町内会連合会
企画協力：減災と男女共同参画 研修推進センター

【目的】

東日本大震災やこれまでの災害等の経験や教訓をふまえ、災害発生時に迅速に必要な対策や対応を行うためには男女共同参画の視点を生かした「地域防災」が必要不可欠である。

そのため、盛岡市町内会連合会や関係機関、市民・女性団体と連携し、地域の実情に合わせた実践・検証を重ねながら市民の手による市民のための「避難所運営マニュアル(ガイドライン)」の作成が急務と考え実施した。

【主な取組】

多様な人々の視点を生かした「地域防災」のあり方と、女性の声を届けるための学びと実践の場として、女性防災リーダーの養成が重要と考え、「多様な人々の視点を生かす、女性防災リーダー養成講座」(全5回)を実施した。

ガイドライン作成講座では、マニュアル検討部会で女性防災リーダーと共に原案の検討を行った。その後、連続講座(全5回)では、女性防災リーダーと地域の男性を含む新たな受講生と共に防災の基礎知識やグループワークを通して課題を共有し、多様な人々にとって安心して安全な避難所運営について検討を深めた。

検討の中で、実際に市民の方々に活用していただくためには、「マニュアル」ではなく「ガイドライン」として地域の実情に合わせた内容に変更し活用いただくこと、また読みやすい概要版としてカラー印刷、文字は大きく、イラストや表を使い見やすくした方が分かりやすいというご意見が多く、完成版の名称は『命とくらしを守る避難所運営ガイドライン』に変更した。最終回の公開講座②の中で地域の方々よりご意見をいただき、さらなる検証を行い作成した。

事業実施概要①

■マニュアル検討部会(全2回)



第2回視察研修 「盛岡市内の水害から学ぶ」



■連続講座(全5回)／公開講座① 第1回「被災者の体験に学ぶ」他



第3回 「要援護者等の支援のあり方と検討」



事業実施概要②

第4回 「安心・安全な避難所と暴力の防止」



第5回「避難所開設図上訓練」／公開講座② (※ファシリテーターは連続講座受講生)



第5回「避難所マニュアルの検証」



完成した報告書とガイドライン



事業効果

- ①盛岡市町内会連合会や盛岡市議会(危機管理・災害対策特別委員会)、盛岡市関係課はじめ関係機関や団体との連携が図れたことで、男女共同参画の視点を生かした地域防災を推進する機会となった。
- ②「女性防災リーダー養成講座」修了生の人材活用ができました。また、修了生は、「盛岡市女性人材バンク」へも登録予定である。
- ③市民の手による市民のための「避難所運営ガイドライン」として、平常時から他人事ではなく地域の課題として取り組んでいく機会となった。
- ④東日本大震災で実際に避難所運営をされた方や盛岡市の水害で避難所開設された自治会の生の声を伺うことができ、課題の検証と盛り込む内容を精査することができた。

今後の課題

- ①「避難所運営ガイドライン」を活用した出前講座の実施
 - ・男性を含めた地域のリーダーなど、男女共同参画の視点を生かした防災・減災のまちづくりを目指す。
 - ・地域の実情やニーズに合わせたプログラムの検証を重ね、地域独自の「マニュアル作成」に寄与する。
- ②他団体や関係機関等との連携
 - ・今後も盛岡市町内会連合会や関係機関・団体との連携を図る。
- ③女性防災リーダーの養成と人材活用
 - ・地域防災の要となる女性防災リーダーの養成と人材活用を図る。
 - ・出前講座等では、事業への参画を通して連携を図る。